



「2022年3月期 第2四半期」

決算説明会

2021年11月10日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE : 2715

URL : <http://www.elematec.com>

IR 問い合わせ先 : 経営企画・人財開発部 E-mail: IR-info@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2021年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決算報告

2022年3月期 第2四半期連結累計期間

e|em

決算ハイライト

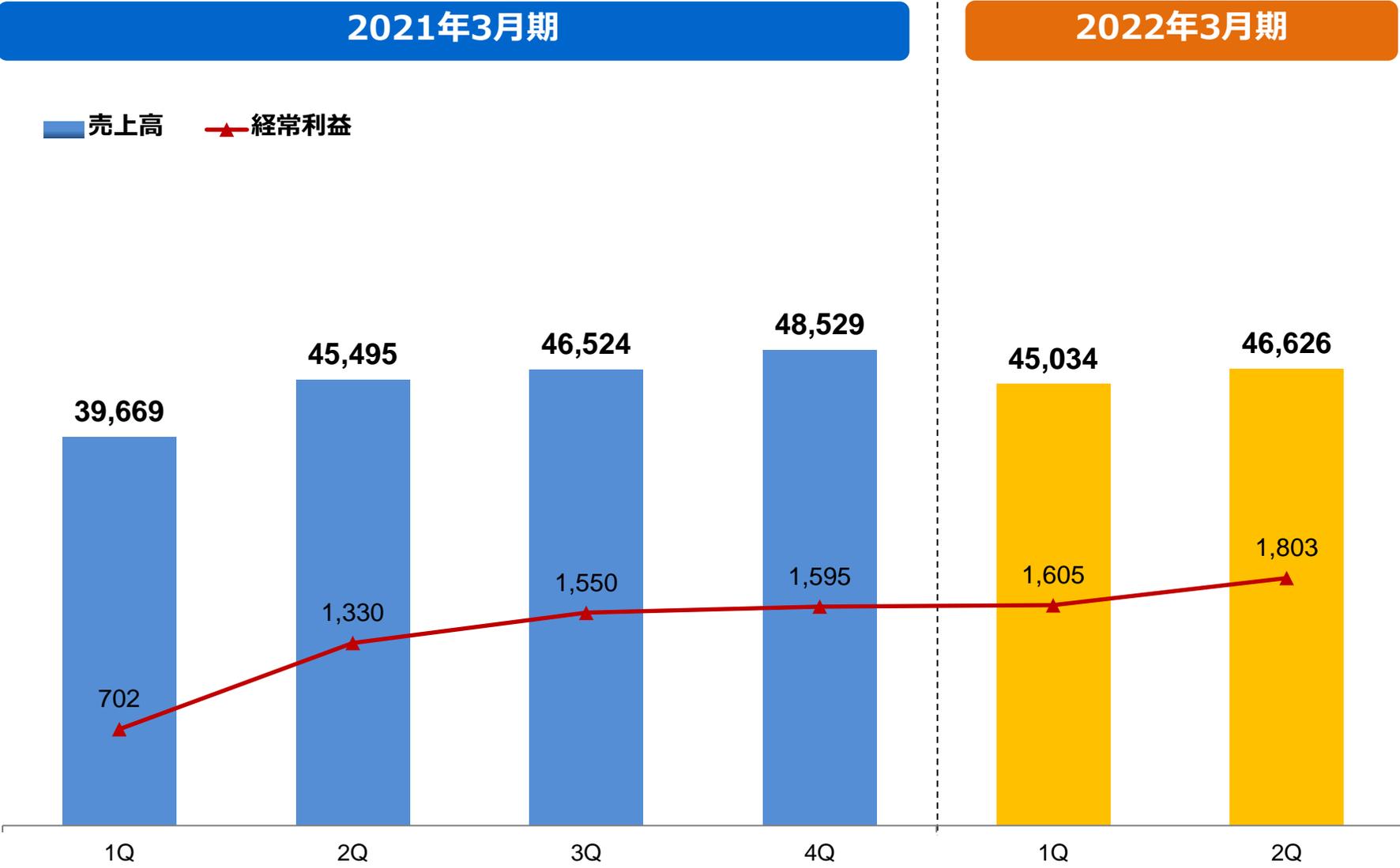
- 自動車市場における生産活動の回復、半導体関連及びゲーム機器関連部材の販売好調により、前年同期比で増収増益となった。

単位：百万円	21/3期 2Q累計 (USD=106.93円)	22/3期 2Q累計 (USD=109.81円)	前期比	増減要因
売上高	85,164	* 91,660	+7.6%	主に自動車向け関連部材の 販売増加による増収
売上総利益	8,013	9,928	+23.9%	増収に伴う増加
売上総利益率	9.4%	10.8%	+1.4pt	
販売管理費	5,861	6,447	+10.0%	人件費等の増加
営業利益	2,152	3,481	+61.7%	
経常利益	2,033	3,408	+67.6%	
当期純利益	1,409	2,397	+70.1%	
EPS	34.42円	58.55円	—	
1株当たり配当金	13円	17円	—	

*収益認識影響：売上高▲5,522百万円

四半期別の業績推移

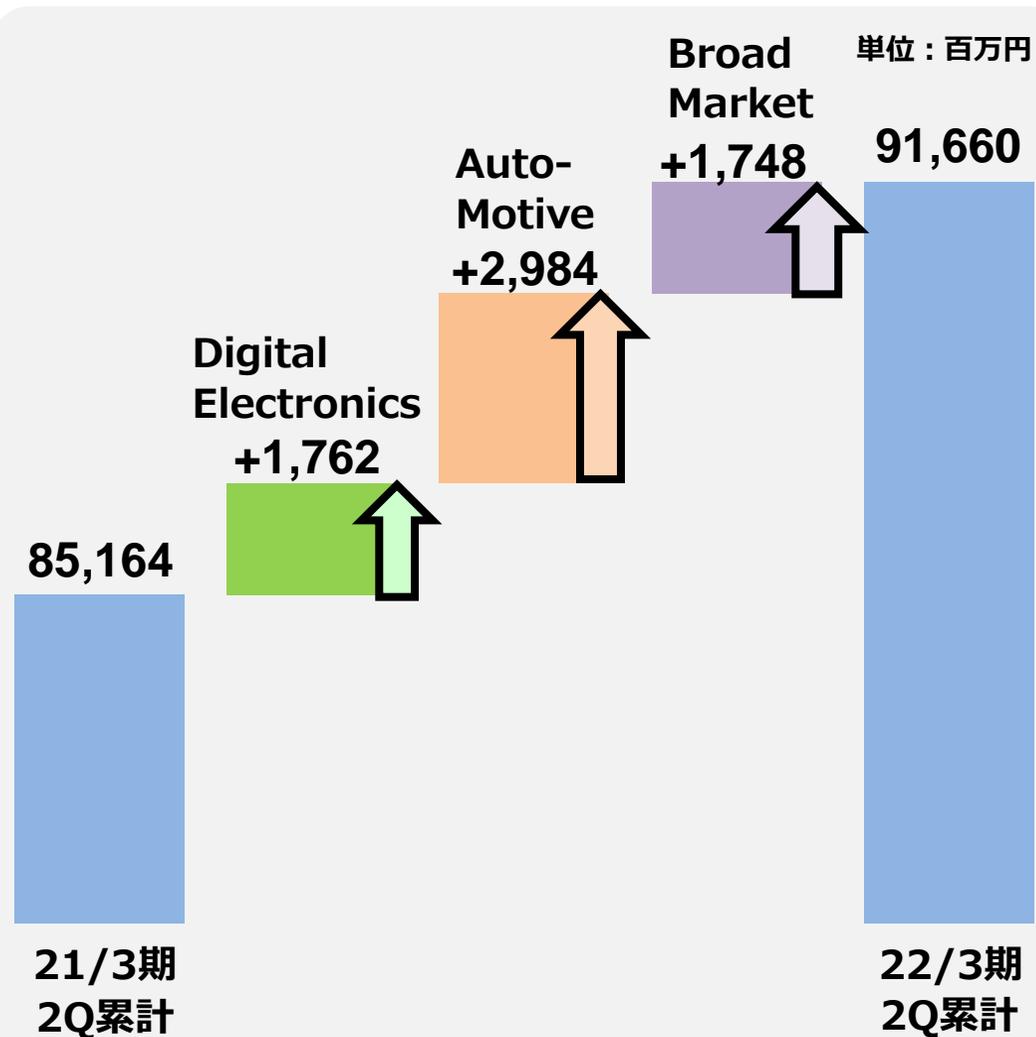
Point 前期コロナ影響からの反動増に伴い増収増益



マーケット別売上増減要因

Point ・自動車生産の回復により、Automotiveは前年同期比+29.3%と大幅増収

前期比 売上高増減内訳



主な増減要因

* [] 内は今期収益認識基準適用による影響額

Digital Electronics

【前期比】 +1,762百万円 [▲2,854百万円]
+4.4%(39,812百万円⇒41,574百万円)

カメラ・カメラモジュール

+1,587百万円 [0百万円]

電気・電子部品、半導体

+1,006百万円 [▲1,475百万円]

Automotive

【前期比】 +2,984百万円 [▲28百万円]
+29.3%(10,174百万円⇒13,159百万円)

Broad Market

【前期比】 +1,748百万円 [▲2,638百万円]
+5.0%(35,178百万円⇒36,926百万円)

モーター

+1,011百万円 [▲9百万円]

医療機器

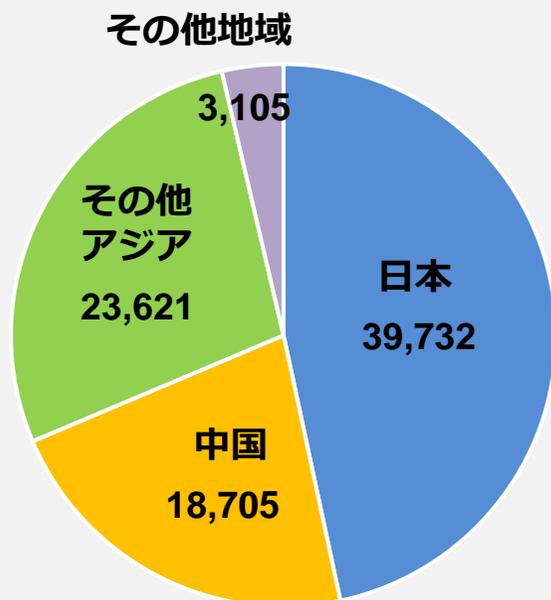
+820百万円 [▲552百万円]

販売費及び一般管理費の状況

単位：百万円	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減額	増減要因
人件費	3,218	3,602	+383	業績連動賞与の引当金の増加
荷造運賃	1,060	1,207	+147	新型コロナウイルス影響により物流逼迫 →運賃高騰
その他	1,582	1,638	+55	
販売管理費	5,861	6,447	+586	売上高販管費率 6.9% ⇒ 7.0%

Point ・海外：液晶採用モデルの減少に伴うスマートフォン関連部材の販売減により
 その他アジアは前年同期比で減少

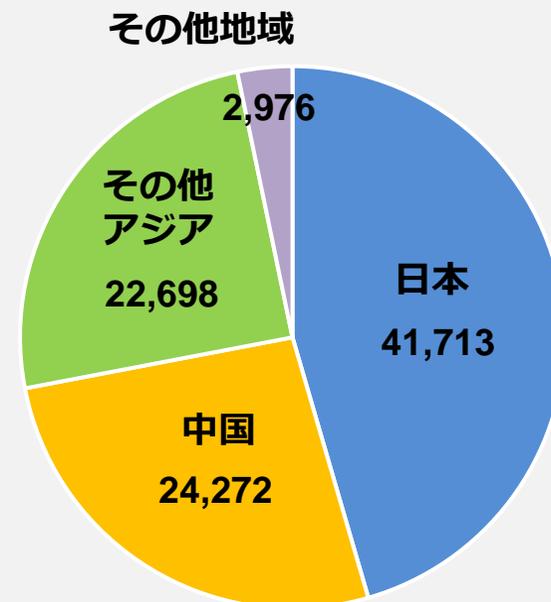
2021年3月期2Q累計



2021/3月期	売上構成比
国内	46.7%
海外	53.3%
中国	22.0%
その他アジア	27.7%
その他地域	3.6%

2022年3月期2Q累計

単位：百万円



2022/3月期	売上構成比
国内	45.5%
海外	54.5%
中国	26.5%
その他アジア	24.8%
その他地域	3.2%

連結貸借対照表

Point 自己資本比率は、50%超を維持

バランスシート

単位：百万円

総資産 **101,317**
自己資本比率 **53.7%**

総資産 **105,836**
自己資本比率 **52.8%**



2021年3月期



2022年3月期2Q

主な増減要因

流動資産 +4,415

- 現預金 +936
- 受取手形・売掛金 ▲276
- 棚卸資産 +3,528

固定資産 +103

- 繰延税金資産 +67

負債 +3,001

- 支払手形・買掛金 +1,753
- 短期借入金 +365

純資産 +1,517

- 利益剰余金 +1,455

キャッシュフロー

単位：百万円	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計
営業C/F	3,918	1,685
投資C/F	▲576	▲171
財務C/F	111	▲711
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲41	133
現金及び現金同等物の増減	3,411	936
現金及び現金同等物の期末残高	26,779	28,813

主な増減要因

営業CF

- 税金等調整前四半期純利益 + 3,408
- 売上債権の減少 + 412
- 棚卸資産の増加 ▲3,505
- 仕入債務の増加 + 1,557
- 法人税等の支払額 ▲765

投資CF

- 有形固定資産の取得 ▲309
- 無形固定資産の取得 ▲27

財務CF

- 短期借入金 of 増加 + 356
- 配当金の支払額 ▲941

通 期 業 績 予 想

2 0 2 2 年 3 月 期

e|em

自動車関連ビジネスの回復を中心に増収増益

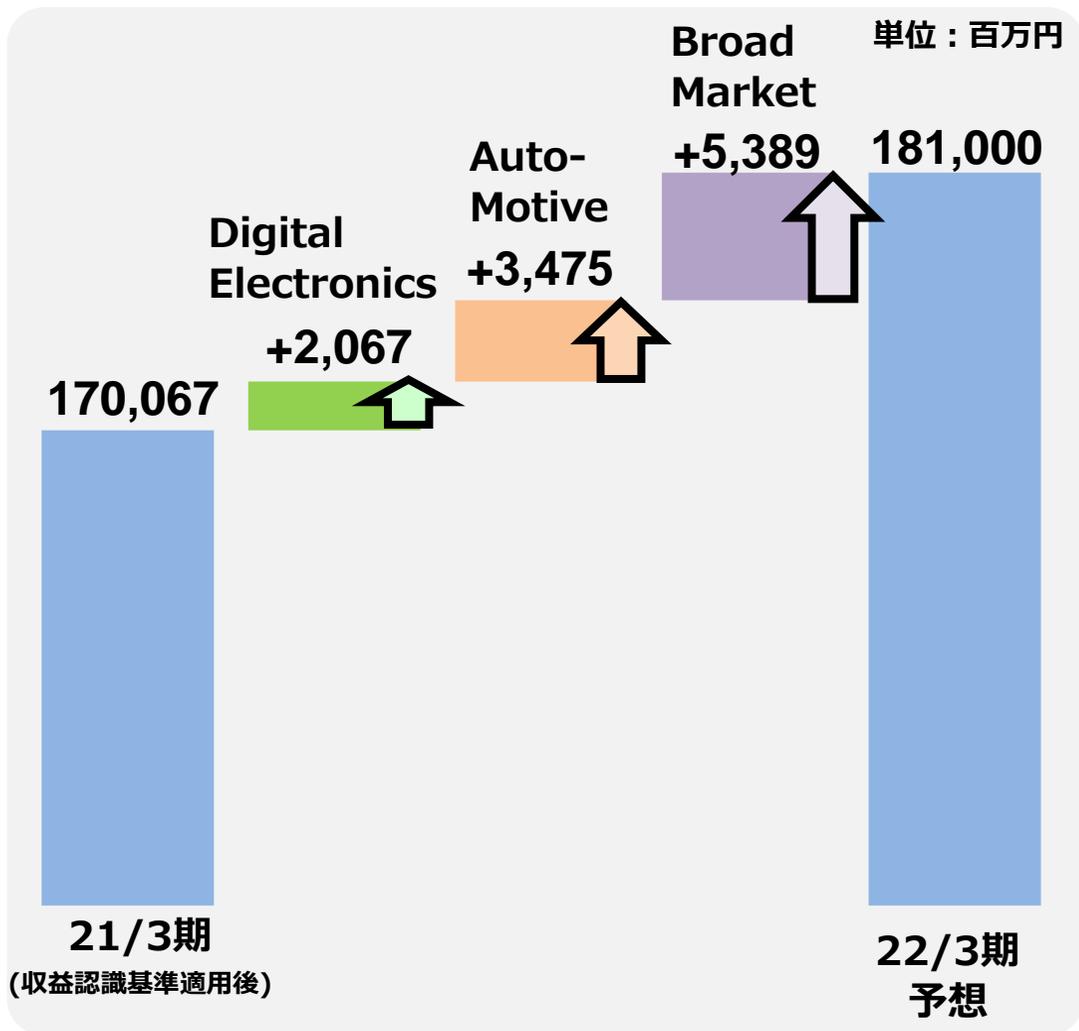
- ◆前期新型コロナウイルス感染症影響に伴う自動車生産の停滞からの反動により、自動車関連ビジネスが好調に推移し、増収増益を見込む

単位：百万円	21/3期	22/3期	増減 (21/3期vs.22/3期)
売上高 ()は収益認識基準遡及適用後数値	180,218 (170,067)	181,000	+0.4% (+6.4%)
営業利益	5,463	6,500	+19.0%
経常利益	5,179	6,200	+19.7%
当期純利益	3,666	4,400	+20.0%
EPS	89.55円	107.46円	—
ROE	7.0%	7.9%	—

22/3期連結業績予想 前提為替レート USD= 100 円

- Point**
- ・ Automotiveは前期の生産停滞の反動から前年同期比+14.2%の見込み
 - ・ Broad Marketは産業機器関連を中心に市場が回復し前年同期比+7.6%の見込み

前期比 売上高増減内訳



Digital Electronics

【前期比】 +2,067百万円(+2.8%)
(74,570百万円 ⇒ 76,637百万円)

電気・電子部品、半導体	+3,442百万円
カメラ・カメラモジュール	+1,362百万円
液晶、TP・BL	▲1,772百万円

*TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 +3,475百万円(+14.2%)
(24,482百万円 ⇒ 27,958百万円)

Broad Market

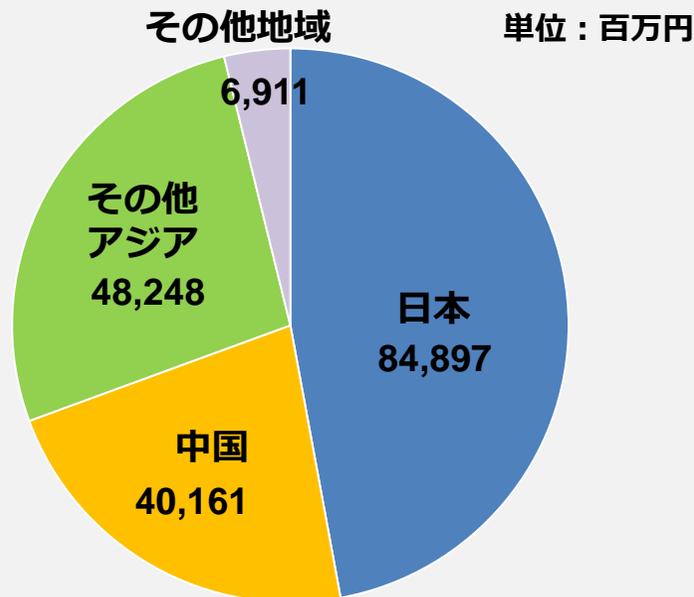
【前期比】 +5,389百万円(+7.6%)
(71,014百万円 ⇒ 76,404百万円)

医療機器	+1,721百万円
産業機器	+1,342百万円
モーター	+1,063百万円

連結業績予想 国内・海外売上高

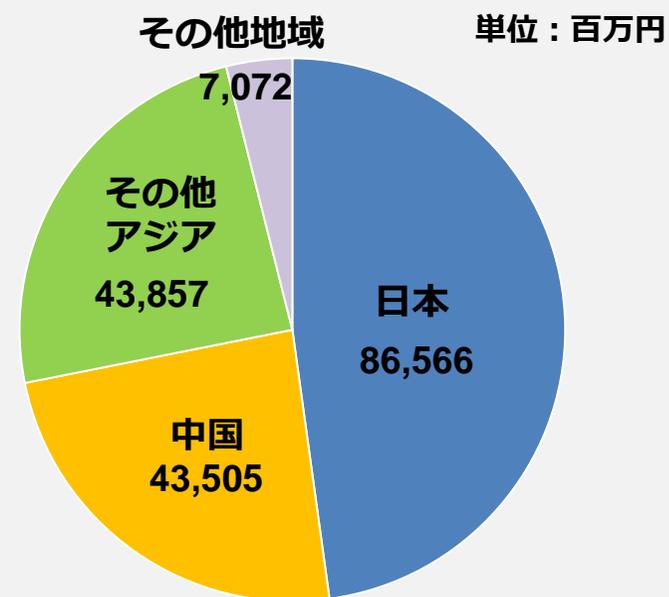
- Point
- ・日本：自動車関連部材等の販売が大幅に増加
 - ・海外：主にアジア地域でスマートフォン関連部材の販売減少→海外売上高比率は前年同期比▲0.7%

2021年3月期



2021/3月期	売上構成比
国内	47.1%
海外	52.9%
中国	22.3%
その他アジア	26.8%
その他地域	3.8%

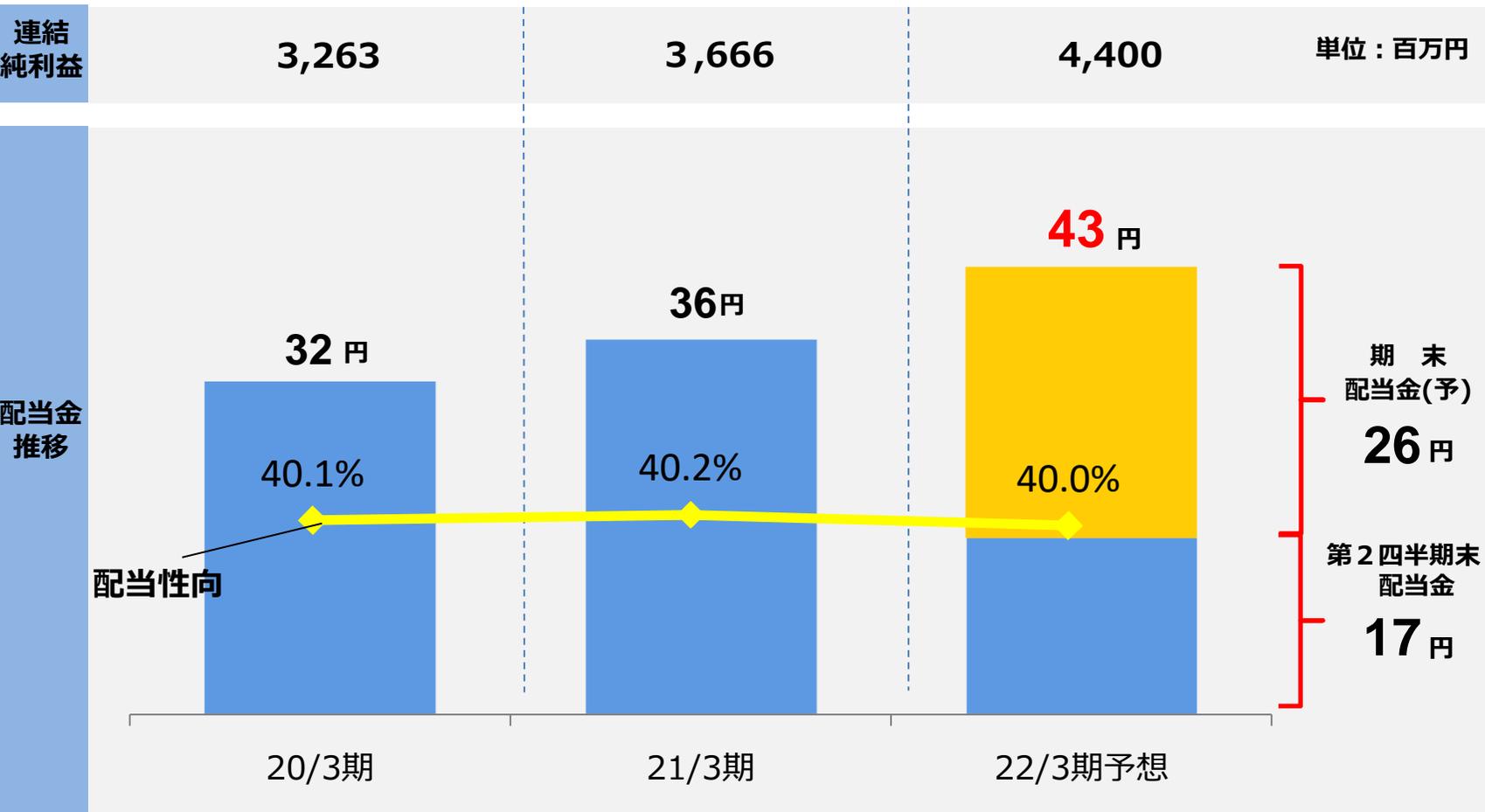
2022年3月期



202/3月期	売上構成比
国内	47.8%
海外	52.2%
中国	24.0%
その他アジア	24.2%
その他地域	3.9%

配当方針及び配当予想

株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置づけ、
 中期的な業績の見通しや投資計画に基づくキャッシュ・フローの状況を勘案し、
 配当性向(連結)40%以上にすることを基本方針とする



中期経営戦略 (2021年3月期～2023年3月期)

エレマテック **NE×T**

2022年3月期の取り組み

e|em



1. 高付加価値型ビジネス

2. 海外有力顧客の開拓

3. 自動車ビジネスの拡充

高付加価値型ビジネス

完成品ODMビジネスの本格稼働開始



- 豊富な取引先の中から顧客に最適なODM先を提案
- 海外サイドからもODM先をコントロールし、品質管理を徹底

<p>量産実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダー ・コーヒーマーカー ・駐車管理センサー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル活動量計 ・布団乾燥機 等
<p>提案中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車載タブレット ・ウェアラブル機器 ・LEDランタン 	<ul style="list-style-type: none"> ・スティックPC 等

高付加価値型ビジネス

■ 環境対応型商材の拡充

市場環境

サステナビリティに対する世界的な意識の高まりにより
環境に配慮した商品への需要急増

▼
エコ商材推進チームを設置

環境対応型梱包材

- ・ 原材料がサトウキビと竹で構成
- ・ ゲーム機、ヘッドセット等の梱包に使用

異種材料成形品

- ・ 自然由来材料を成形品へ⇒脱プラへ貢献
- ・ 住宅関連事業等で出た廃材の再利用

生分解性樹脂

- ・ 自然環境で生分解される
- ・ ストロー、スマホケース向け等に使用

営業活動を通じた取り組み

当社グループが注力するマーケットごとにSDGsの各ゴールに結びつく商品やサービスを社会への貢献度合い・継続性の観点から抽出

企業市民としての取り組み

当社グループにおいて注力しているCSR・ガバナンス活動を洗い出し、SDGsの趣旨に資する項目を特定

	取り組みテーマ	トピックス	関連するSDGs
E	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のエネルギー効率改善 電力の効率的な活用 脱炭素社会の実現 クリーンエネルギーの普及 環境負荷の軽減 循環型社会の実現 	 <p>環境負荷の軽減 植物由来原料を使用した梱包材の納入</p>	
S	<ul style="list-style-type: none"> 飢餓、貧困の解消 交通事故のない社会の実現 適切な医療環境の整備 製造工程における生産性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足の解消 循環型社会の実現 人材育成の推進 安定的なインフラの整備 人権の尊重  <p>交通事故のない社会の実現 ドライブレコーダーの企画開発及び部材の拡販</p>	
G	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 公正な事業活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス体制及びコンプライアンス体制の整備 	



1. 高付加価値型ビジネス

2. 海外有力顧客の開拓

3. 自動車ビジネスの拡充

海外有力顧客の開拓

フォルダブルスマートフォン向けの強化

【経営環境】

- スマートフォン業界はフォルダブル端末機向けの開発過渡期
- 今後本格的にフォルダブルスマートフォンの量産が開始される

当社にとっての大きなビジネスチャンス

日本製有力商材の発掘

得意先6,300社
仕入先7,100社

= 豊富な情報網で
有力商材を発掘

背面意匠から表面のフィルムまで
幅広い商材をカバー

中国系、米系顧客の攻略

- ・過渡期にあるフォルダブル端末向けは新規参入の大きなチャンス
- ・大手ローカル顧客との口座獲得済み

フォルダブルスマホ商材をメインに
スペックイン活動を強化



1. 高付加価値型ビジネス

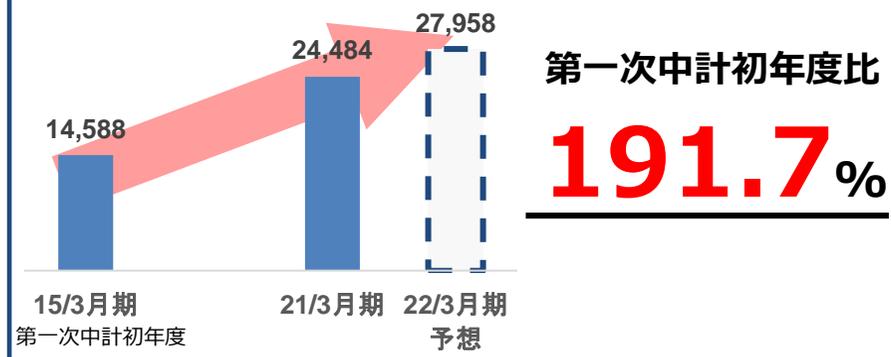
2. 海外有力顧客の開拓

3. 自動車ビジネスの拡充

自動車ビジネスの拡充

100年に1度の大変革期にあり、今後ますます電装化比率が上昇する自動車領域へ注力

オートモーティブ売上推移



EV化の展開

耐火シートASSY(完成品)

バッテリーの発火対策として
今後需要の拡大が見込まれる

耐火対策アッセンブリー品の初採用

EV用ヒーターユニットASSY(完成品)

EVの座席の足元を温めるヒーター
従来のガソリン車と違い、エンジンの熱を
利用できない**EV向けの商材**

自社加工工場の機能強化

当社無錫工場の設備増強

- 貼合、洗浄装置等の追加導入

Smart Mirror
HUD(ヘッドアップディスプレイ)
メーターパネル 等

**新規案件
獲得**

高付加価値商材を中心に

国内外の有力顧客(Tier1,2)への提案を強化

	プライム市場 上場維持基準	一次判定結果 *2021年6月30日時点	適合状況
株主数	800人	2,769人	○
流通株式時価総額	100億円	183億円	○
流通株式比率	35%	36.6%	○
売買代金	0.2億円	0.39億円	○

【市場の選択】

プライム市場への上場維持基準を達成



プライム市場への上場維持が決定

- 2021年7月9日付で東京証券取引所より、当社が「プライム市場」の上場維持基準へ適合している旨の通知を受領
- 2021年9月22日に東京証券取引所へ「プライム市場」を選択市場とする市場選択申請書を提出

本日は長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation



補足資料

e|em

会社概要

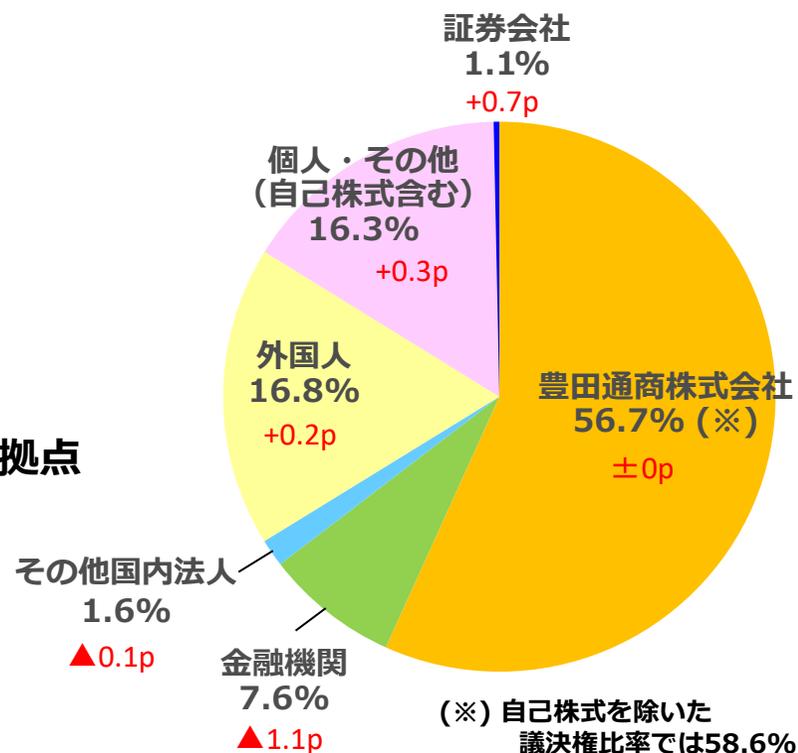
※下記の各データは2021年9月30日現在

商号	エレマテック株式会社 (英訳名 Elematec Corporation)
設立	1947年4月 (創立 1945年11月)
上市	東証1部 2005年3月 (東証2部: 2003年12月、JASDAQ: 2002年6月)
所在地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館19階
代表者	代表取締役社長 <small>よこで あきら</small> 横出 彰

事業内容	エレクトロニクス専門商社
従業員	【連結】 1,174名 【単体】 481名
営業拠点	【国内販売拠点23ヶ所】 本社・本店・16支店・5営業所 【海外販売拠点40ヶ所】 中国 17拠点、その他アジア 16拠点 北中米 5拠点、欧州 2拠点

資本金	2,142百万円
発行済株式数	42,304千株
株主数	3,455名

所有者分布状況 (2021年9月30日現在)



赤字は、21/3末比の数字